

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子 です

鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 TEL3783-8833
日本共産党区議団控え室 TEL5742-6818このニュースについてのご意見、
ご要望をお寄せください。

リニア新幹線

(裏面に中延・旗の台のルート図あり)

大深

道路「陥没事故」は外環道工事が原因

「安全神話」は崩れた



外環道本線トンネル工事の直上で起きた陥没。民家のガレージトキをえり、底には大量の水がたまっていました。20年10月18日午後2時すぎ、品川区

現在の区内工事の進捗状況は？
起点となる北品川の立て坑工事が終了し、トンネルを掘り進めるシールドマシンの組み立てがほぼ完成。外環道の陥没

予算議会で鈴木が取り上げました。昨年10月、外環道トンネルの直上・調布市の住宅街で起きた市道の陥没事故(左写真)。さらにルート上に3つの巨大な地下空洞が相次ぎ確認されました。有識者委員会が今年2月12日、最終報告書を公表、大深度地下利用法で認可された外環道の工事が原因の可能性が高いとし、因果関係を認定しました。
私は「この事故は、地下40m超の大深度をリニア新幹線が横断する品川区にとって重大問題。JR東海は『大深度は安全、地上には影響がない』と、地上の権利者に説明も知らせることもなく強行してきた。『大深度安全神話』が崩れた今、このまま進めることは許されない」と主張。

リニア中央新幹線とは

最高時速505km。品川・名古屋間286kmを最速40分で先行開業。その後大阪まで延伸、2037年に全線を最速67分で結ぶ計画。建設費9兆円超。品川駅始発。全線の86%が地下化。

品川区内は、北品川、広町、西品川、豊町、東中延、中延、旗の台から大田区へ、地下40m超を直径14mのトンネルが横断。必要性や安全性、環境破壊(地下水脈を断ち切り水源の減少など)、莫大な建設費など多くの問題が指摘されている。

このままでは、環境破壊と将来世代への負の遺産ともなりかねません。コロナ後の交通体系はどうあるべきか、事業の中止も含め、抜本的な見直しが必要です。

中止を含め、抜本的な見直しを
リニア新幹線は、南アルプスを11kmのトンネルで貫通させる工事が地下水脈を断ち切り、大井川の水量が毎秒2t減る事が大問題になっています。静岡県知事は「東京、名古屋、大阪を結ぶ世界屈指の大都市構想自体がコロナ禍の下で時代遅れ。オンラインの方がリニアよりも早い」と述べています。

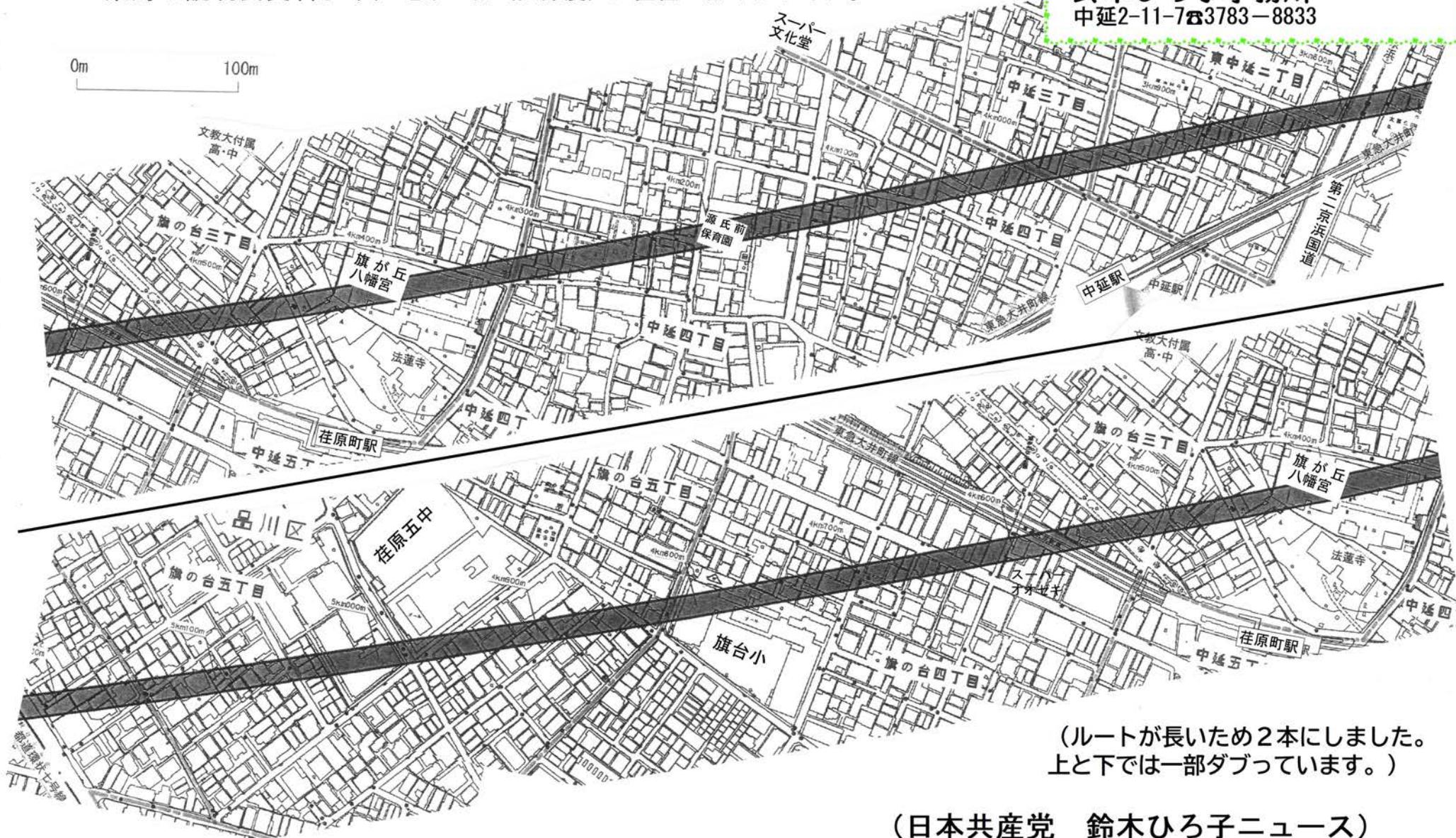
事故を受け、JR東海が安全確認をしている。品川区もJR東海に対して「安全性の検証と同様の事象を起こさないための処置を求める」要請文を出したとのこと。
今こそ、住民への説明を
私は、「今こそ地上の権利者、住民に對して、説明会を開き、住民の意見を聞く場をつくるようJR東海に求めるべき」と求めました。

リニア新幹線のルート図

(第二京浜国道から東中延、中延3~4丁目、旗の台3~5丁目を通り大田区へ、
一JR東海の説明会資料より) 地下40m(大深度)に直径14mのトンネル。

無料 法律・生活相談会

3月26日(金)午後5時~
鈴木ひろ子事務所
中延2-11-7 ☎3783-8833



(ルートが長いため2本にしました。
上と下では一部ダブっています。)

(日本共産党 鈴木ひろ子ニュース)